

## 会員報告

## 大阪頸髄損傷者連絡会「新年会」

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田浩敬

皆さまこんにちは。  
寒い日が続きますが、いかがおすごしでしょうか。  
先月24日、毎年たくさんの方が集まって行なわれる、大阪頸髄損傷者連絡会の新年会へ参加して来ました。その報告としてお伝えいたします。

数十年に一度の大寒波に見舞われる中、体温調整が難しい頸髄損傷者がたくさん集まりました。久しぶりに顔を合わせて、近況をみなさん語り合いながら、食事や会話を楽します。

“普段は余り外出はしないけど、新年会には参加する”“毎年新年会を楽しみにしている”、そんな思いを持たれた方が多いのです。そして、新年会で新たな繋がりを見つけて、情報収集の輪を広げる方も。いろいろな意味合いがあるとは思いますが、共通していることは、「みなさん楽しみたい!!」ということ。

大阪府立大の作業療法士科の学生達が、大阪頸髄損連の新年会実行委員の方達と一緒に準備を重ねて、私達を楽しませようと考えてくれました。赤尾会長から挨拶をいただき、乾杯の音頭を柏岡さんと繋がれて、新年会が始まりました。みなさん食事をしながら、交流を楽しんでいる模様。



フリータイムで団らん中

フリータイムの後は学生がランダムにインタビューしてまわります。ただのインタビューでは無く、某テレビ番組からヒントを得たのでしよう、テーマが書かれたサイコロを振って、出たテーマ

をインタビューを受ける方が答える。学生も仮装をして、和やかな雰囲気となりました。

ビンゴゲームでは、景品があるということでみなさん真剣な様子。なかなかビンゴが出ない中、一等賞は大阪府立大OBの方。ビンゴのカードとにらめっこしていたのですが、途中から諦めモード、みなさんと楽しいトークで盛り上がりました。

終盤では学生達が学生服に着替えて、みんなで「UFO」と「学園天国」を振り付けつきで熱唱。最後はお約束の記念撮影。



最後は記念撮影

いやいや今年も大いに盛り上がり、みなさんも満足して帰られたのではないのでしょうか。

寒い中、行なわれる新年会ですが、帰る頃には、心も体も温まり、今年も一年頑張ろうと胸の内に秘めて、日常に戻っていきます。頸損には大変なことや、上手くいかないことは付き物ですが、そんな日常を少しでも忘れさせてくれる、大阪頸髄損連の新年会に、また皆さまも参加されてはいかがでしょうか。

以上を持ちまして、大阪頸髄損傷者連絡会「新年会」の報告を終えたいと思います。まだまだ寒い日が続きますが、皆さまお体に気をつけて下さい。